小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会福祉法人　あさひ会	代表者	森田　孝文
事業所名	小規模多機能はまひるがお	管理者	宮元　直樹

法人・事業所の特徴	法人の理念である「あなたらしさ100%」を踏まえ「あなたと共に」を合言葉として、「あたり前の暮らし」、「生活の継続性」、「ご自身の持っている力を発揮できる機会作り」、「落ち着いた雰囲気作り」にこだわり、これまで培ってきた生活や暮らし、その方のこれまでの暮らしに根付いていることを大切にし、支援を行っています。具体的には、身近な家庭で行っていることを施設において取り入れ、ご利用者様と共に行っています（食事のしたく、掃除、季節に応じた行事・外出等）。また、それ以外にも個別支援を重視し、お一人おひとりの希望・要望等を支援に反映するよう、取り組んでいます。

今回アンケートにて	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	人	1人	1人	人	1人	人	8人

項　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	前回の外部評価の意見	今回の改善計画
A．自己評価の確認	個々の改善計画の質の向上に努めていく。	→項目によっては、まったくできていないこともあり、質の向上につながったとは言えない。但し、項目によっては職員間でも意識し、定期的に取り組めた項目もあり、引き続き継続していくことが必要。	アンケートにて特に意見なし。	→前年度の改善計画の継続 個々の改善計画の質の向上に努めていく。
B．事業所のしつらえ・環境	・室内の湿度や温度などに配慮し、過ごしやすい環境作りに努める。 ・花壇や環境整備の継続。	→過ごしやすい環境作りを心掛け、室内のしつらえ（テーブル席などの配置の工夫・作品の展示等）への配慮。館内外の花壇の入れ替え、家庭菜園の実施等、環境整備を心掛けた。又、新型コロナウイルス感染防止のため定期的に換気・手に触れる箇所への消毒を継続した。	アンケートにて特に意見なし。	→前年度の改善計画の継続 ・室内の湿度や温度などに配慮し、過ごしやすい環境作りに努める。 ・花壇や環境整備の継続。 ・新型コロナウイルス感染防止対策の継続。
C．事業所と地域のかかわり	新しい生活様式を踏まえた地域との交流の機会を検討していく。 ・町の健脚体操への参加。 ・地域行事への参加。 ・施設イベント行事の案内。 ・地域住民への施設会場の提供・地域の高齢者向けのイベント企画の開催。	→今回新型コロナウイルス感染防止のため昨年度と同様に今年度においても一切地域との交流事業が実施できなかった。但し定期的に関係者から地域交流等の状況を確認したり、何度か、小学校への雑巾寄贈を行った。	アンケートにて特に意見なし。	→前年度の改善計画の再開。又は、新しい生活様式を踏まえた地域との交流の機会を検討していく。 ・町の健脚体操への参加。 ・地域行事への参加。 ・施設イベント行事の案内 ・地域住民への施設会場の提供。 ・地域の高齢者向けのイベント企画の開催。

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	前回の外部評価の意見	今回の改善計画
D．地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み	地域の中で安心して暮らしを続けられるよう、関係者に対し、ご本人・ご家族様の了解のもと、適切な情報提供を行う。又、ご利用者の途切れた地域とのつながり（人・場所等）を修復していく。	独居の方への町内会費への手続きの代行や近隣住民への情報提供の依頼等を行った。	アンケートにて特に意見なし。	→前年度の改善計画の継続 地域の中で安心して暮らしを続けられるよう、関係者に対し、ご本人・ご家族様の了解のもと、適切な情報提供を行う。又、ご利用者の途切れた地域とのつながり（人・場所等）を修復していく。
E．運営推進会議を活かした取組み	今後の新型コロナウイルス感染等の状況や新しい生活様式（ZOOM 等の活用）を踏まえて会議の在り方を検討していく。	新型コロナウイルス感染防止のため 4 月から 12 月にかけての運営推進会議が中止となった。ZOOM での会議も使用を検討したものの、事業所・団体以外は使用が難しいため ZOOM 形式での会議に至らず。書面での運営状況を報告以外に途中写真などを用いて状況報告を行う形も追加した。	アンケートにて特に意見なし。	→今後の新型コロナウイルス感染等の状況や新しい生活様式（ZOOM 等の活用）を踏まえて会議の在り方を検討していく。
F．事業所の防災・災害対策	新型コロナウイルス感染状況等を踏まえ、町内等の防災・火災対策を検討していく。	町内での防災訓練に限らず、すべての町内行事が新型コロナウイル感染防止のため中止になった。そのため地域の防災・災害に関しての取り組み・情報が入っていない。但し、施設内での日中想定の避難訓練や消防設備の定期的な点検は行っている。	アンケートにて特に意見なし。	→新型コロナウイルス感染状況等を踏まえ、町内等の防災・火災対策を検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年６月22日（14：00　～　15：00　）
１．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	５人	７人	１人	13人

前回の改善計画

・開始後のカンファレンスを行う前に30分程度の話し合いの場を設ける。(⇒話し合いは担当職員が中心に話し合いの場を設定する。その話し合いに参加できない職員には事前に意見を聞いたり、30 分程度の話し合いの場にて情報収集を行い、ケアマネに報告したり、1か月後のカンファレンスで知り得た情報を伝える。又、支援内容の変更など、担当職員が全体に伝えたいことはケース記録に記入して全体に申し送る。)

前回の改善計画に対する取組み結果

改善計画は十分ではないが、だいたいできているという意見が多かった。但し事前の30分程度の話し合いの場はあまり設けられなかった。又、情報収集ができていても対応策などの話を詰め切れない所もあった。併せてカンファレンス不参加者は議事録のみで情報収集のため、結論に至った経緯や詳細等が議事録だけでは不明との意見も挙がった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	利用者の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	１２			１３
②	ミーティングにおいて、かかわりの初期の目標を共有できていますか？		１２	1		１３
③	利用者がまだなれていない時期に、訪問や通いでの、声掛けや気遣いができていますか？		１２	1		１３
④	初期の目標を念頭においたケアができていますか？		8	5		１３

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用前にミーティング等で話し合ったり回覧で情報を共有している。
・事前情報の確認、書類でのチェックや口頭での確認はできている。
・生活歴などの本人の情報は利用開始前に回覧にて周知している。
・利用開始後のケース記録には本人の様子や支援方法が細かく記載されているので、次回からの参考になり役立っている。
・新規利用者の情報はケアマネからの情報や資料である程度把握できている。
・書面で情報がまとめてあり新規の利用者の情報を共有している。
・慣れていない時期にコミュニケーションを多くとり記録に残している。
・初期支援について、スタッフ全体で積極的に関わりの機会を持つよう心掛けている。
・1ヶ月後のカンファレンスはできている。
・新規利用者の情報をミーティングや資料にて事前に把握している。
・新規の方の情報は必ず回覧されていて支援方法等記載されている。職員間でも気づきがあった時はその日のうちに申し送られ、変更等あった場合はその都度改善されている。
・ご本人の情報は回覧等を通して共有できている。
・カンファレンスを行う前に担当職員は積極的に情報を収集している。
・新規利用者の情報共有を書面やミーテイングで行えている。
・新規利用者と他の利用者がスムーズに会話などができるよう心掛けている。
・新規利用者の方にはこまめに話し掛けを行っている。
・新規の方には分からないことや困ったことがないかを聞いている。
・声掛けを多くすることで不安解消に努めている。
・様子を観察したり声掛けを行っている。

・できる限りコミュニケーションをとるよう心掛けている。
・慣れていない時期に新規利用者への声掛けや気遣いは配慮し行われていると思う。
・本人の情報やニーズ等は、記録やアセスメントシートを通じてやスタッフ間の情報から共有や、必要としている支援はできていると思う。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・家族と本人の意向が違うこともある。
・新規のご家族との関係は十分ではない。
・うまく関係作りができない方がいた。
・カンファレンスで知り得た情報は書面では回っていたが口頭での共有はなかった。
・１ヶ月後のカンファレンス以外に開始後の話し合いの場は設けられていない。
・利用者にとっての必要な支援。
・カンファレンス前に担当職員が中心になって話し合いの場が設けられていない。
・利用者の思いを把握しきれていない。
・初期対応はケース記録等で確認しているが、本人の思いや要望を把握できていない。
・「話し合いの場」というのはなかったと思う。
・利用開始前のミーティングがあまりできていないと思う。
・ご家族との関係作りができていない。
・慣れていない時期、本人への気遣いが十分にできているとは言えない。
・家族や介護者の関係作りのための配慮はできていない。
・家族が希望する支援を最優先に考え、利用者の思いを考えていない支援をしている。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

１か月後の新規利用者のカンファレンスは継続する。又、担当職員が中心となり、ケアマネが作成した新規利用者のフェイスシートに、知り得た情報を追加して肉付けし、カンファレンス後に回覧していく。
→（方策）新規の利用者の担当職員を契約終了後、業務日誌に利用開始日と一緒に記載する。その他にも担当職員は、知り得た情報や特性、ADL状態、活動状況、支援方法等を手書きでフェイスシートに記入し、回覧後、ケース記録に綴る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年６月22日（14：00　～　15：00　）
２．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	７人	６人	１３人

前回の改善計画
・職員間の意識改革のため、自己実現の大切さや自己実現とは何かに関しては話し合いや勉強会を設ける。

前回の改善計画に対する取組み結果
「自己実現とは」というテーマでの話し合いや勉強会が設けることができなかった。自己実現というテーマも大きく少し抽象的な所もあり、議論の進め方や話し合いが難しい。又、ご利用者の叶えたい夢や願いが介護事業所として難しいことであっても、１つでも実現していくことが大事ではないかとのこと。そのためにもご本人の願いを引き出すためにはどうしたら良いのかを話し合い、今回の改善計画に至る。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		2	10	1	１３
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		3	１０		１３
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？			１３		１３
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？		2	１１		１３

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・個別のリハビリを行っている。
・普段の会話で「～したい」「～食べたい」などの意向はできるだけ対応している。
・コミュニケーションを多くとることで、その方の現在「やりたいこと」を聞いたりして、それをケースに残すようにしたり、ケース記録を読み返していた。
・すぐに実現可能な利用者の要望にはその都度対応している。
・ミーティングでの話し合い。
・一部の方や希望を言われる方への対応はできていると思う。
・普段の会話の中から目標を聞き、可能なことから職員間で情報共有し実践できている。
・本人との関わりのなかで一部の方の「～したい」は聞けている。ミーティングやカンファレンスにて話し合っている。
・日々の関わりのなかで本人のしたい事、好きな事を知り援助できるよう心掛けている。
・気づきは申し送りで周知できるようにしている。
・日々の会話の中で要望をお聞きした際は、可能な事であれば取り組んでいる。
・要望などご自分の言葉で伝えてこられるのでその都度対応できている。
・利用者に話し掛ける時間を増やし、心の中の思いを話していただけたことはケースに記録したり、ミーティングで話しをしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・本人の訴えの強い方への対応が中心となっている。
・施設外でのことになるとほとんどできていない。
・本人の思いに十分に答えられているとはいえないため不満を持たれている方もいる。
・本人の目標が明確でない。
・自己実現に関しての話し合いや勉強会はできていない。
・日々の関わりが十分でなく「～したい」を聞き出せていない。また利用者側のゴールも、長年の悪い生活習慣や改善する意思がなく実現が難しい。
・「～したい」がはっきりしていない方からは上手く聞き出せない。
・話し合いは行っているが活動や行動になっていない。
・利用者全員の目標を把握していない。
・「～したい」がはっきりしていない方が多いため活動までに至らない。
・前年度の改善計画の勉強会などはなかった。
・ご本人の目標である在宅生活は週末だけなので、出来ているのかどうか分からない。
・利用者の声にならない声を理解することができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

すごろくなど、ゲームの中で「やりたいこと」を気軽に言ってもらい、ケースに記載していく。その点をカンファレンスやモニタリングなどに挙げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年６月22日（14：00　～　15：00　）
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	２人	６人	４人	１人	１３人

前回の改善計画
・アセスメント表と介護計画書の回覧の徹底を行う。又、アセスメント表や介護計画書が日頃から目を通しやすいようにケース記録に綴っている位置を変更する。（前回の継続）

前回の改善計画に対する取組み結果
アセスメント表は回覧しているが、介護計画書は回覧できていない。又、介護計画書の綴り位置を変えたことで記録が書きやすくなった。但しケース記録の内容は介護計画書に添っていない所が多々ある。アセスメント表に関しては見えづらい位置に綴ってあり、目にし辛い。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		1	9	3	１３
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？		12	1		１３
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		2	10	1	１３
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1	１１	1		１３
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？		１１	2		１３

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・体調などに合せた介護を行っている。
・スタッフ間で共有できるようにしている。
・ケース記録時にアセスメントや計画書に目を通している。また何がしらの言動が見られた際には、生活歴に目を通したりケアマネに確認している。
・排泄面や体調に応じた支援は状況に応じて即時対応しており、変わりない日常生活を送ることができている。
・アセスメント表、介護計画書を移動したことで確認しやすくなった。
・基礎的な介護はできている。
・体調などの変化の情報共有。
・状況にあった基礎的な介護はできており、変化があった時にはケース記録や申し送りで共有している。
・利用者の気持ちや体調変化について職員間で情報共有し、利用者の思いを反映した支援について話し合い対応できている。
・情報を共有し利用者の状況に応じたサービスができていると思う。
・毎月のモニタリングを読むことで情報を得ることができている。
・ケース記録や申し送りにて情報の共有はできている。
・ケース記録に綴る位置が変わったことで見やすくなった。その時々で気づいた変化を共有し支援に繋げることができている。
・ケース記録、申し送り、職員間で情報を共有し対応している。
・介護計画書を確認しながら必要とされる介助を行なえている。申し送りやケースで把握できるように詳し

く記載されるようになったと思う。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・情報共有できていないこともある。
・声にならない声の言語化。
・アセスメント表と介護計画書の回覧ができていない。
・以前の暮らし方や利用者の生活環境について十分に把握できていない。
・日々のケースを優先し読んでいるがアセスメント表まで確認できていない。
・「昔の暮らし方」の情報が十分に把握できていない。
・以前の暮らし方については大まかな事柄のみで知らないことが多い。
・ケース記録は確認しているが、アセスメント表や介護計画書はなかなか目を通せない。
・自分の担当以外のアセスメント表や介護計画書に目を通せていない。
・「以前の暮らし方」が10個以上把握できていない。
・職員が休みの日に起こった状況の変化がケースに記載されておらず、理解していないまま介助方法が変更になっていることがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

前年度改善計画の継続。⇒アセスメント表と介護計画書の回覧の徹底を行う。又、アセスメント表や介護計画書が日頃から目を通しやすいようにケース記録に綴っている位置を変更する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年６月29日（14：00～14：40）
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	３人	１０人	１３人

前回の改善計画
前回の改善計画を継続。エコマップ作成の機会を通してその方の地域での暮らしを知り、地域での暮らしを行う上で何が必要なのかを当事者のご本人を交えて話し合いの機会を設ける。又、年３回の開催を目標に事前にご本人にもエコマップの目的や趣旨を伝え、ご本人の望む地域での暮らしのお手伝いを見つけていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
時間の設定ができなく、計画は全くできていなかった。又、当事者のご本人にもその件に関して話を伝えることができなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		3	9	1	１３
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		4	4	5	１３
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		3	8	2	１３
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		3	6	4	１３

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ケースに記録を残している。
・普段からのコミュニケーションで本人がどの様に暮らしているかを聞いている。また家族からの情報があった際にはケース記録に目を通している。
・連泊されている方に関しては、全て施設任せになり家族との関係が途切れないよう、受診の付添いや洗濯をお願いしたり、日中だけでも一時帰宅の働きかけを行っている。
・家族との関係。
・一定の方になるがコミュニケーションで昔や現在の生活の話しをお聞きしている。
・通所が多い利用者については、送迎時などに家族から話しを聞けている。
・利用者の帰宅後やお休みの時に話しを聞いている。
・本人との会話の中で情報を収集したりケース記録の見返しはできている。
・できていることが殆んどない。
・日々の会話の中で過去の生活状況、現在の生活状況の話しを聞いている。
・入浴時にはお話しする機会があるので、事業所が接していない時の過し方等の話しを聞いている。
・本人の話しからこれまでの事や現在の事、地域との関わりなど把握できていることもある。
・本人の話しの内容から話しを広げていき、過去の人間関係や暮らしを聞き支援に繋げる。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・地域資源の活用ができていない。
・本人との会話が足りていない。
・エコマップの作成ができていない。
・本人と地域の関係。
・地域との関係がほとんどない方もいる。
・利用者から得た情報をケースに記入することを忘れる時がある。
・「今までの暮らし」は聞けているが「これからの暮らし」を聞けていない。
・利用者全員の「地域での暮らし」について把握していない。
・地域との関わりの支援まではできていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

前回の改善計画を継続。エコマップ作成の機会を通してその方の地域での暮らしを知り、地域での暮らしを行う上で何が必要なのかを当事者のご本人を交えて話し合いの機会を設ける。又、エコマップでの視覚的な情報の共有を図るだけでなく、その方が地域や社会の中でおこないたいことや願いをお聞きし、それを通して地域のつながり（人や場所等）を知り、エコマップを活用しながら理解を深め、協力できることをみつける。（最低でも１回は、ご本人を交えての話し合いの機会を設ける）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年６月29日（14：00～14：40）
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	９人	４人	人	１３人

前回の改善計画
個別的な対応を職員全体で情報を共有し、協力して取り組む。又、家族の要望にも応えられるような試みを行っていく。（例：自宅への閉じこもりの解消や入浴できない方への打開できるきっかけ作り等への働きかけなど）
前回の改善計画に対する取組み結果
十分ではないが、何人かの方への柔軟な取り組みや働きかけを行った。それをより進めていく。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		2	8	3	１３
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	1	9	3		１３
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？		１１	2		１３
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	１１	1		１３

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・できる範囲で「通い・訪問・宿泊」を変更している。
・個別対応の中から少しずつではあるが、自宅での閉じこもり傾向の解消に繋げていけた。
・自宅への訪問のみの方に花の購入や行事にお誘いしてきっかけを作り、来設の機会を増やしている。
・体調や天候によって、柔軟に訪問や泊りを追加・変更して対応している。
・柔軟な支援ができている。
・本人の状態の変化に柔軟に対応している。
・家族の希望で宿泊の追加や、利用者の体調不良で病院の受診依頼に応えるなど柔軟に対応できている。
・状況に応じて訪問や泊りの対応はできている。
・泊りの時など日中の様子に変わったことがなかったかなど職員に確認している。
・本人や家族からの要望、体調等の変化にあった状況に応じて訪問等の対応ができている。
・ケアマネが調整、計画し支援できている。
・支援時の様子はケースに残し、気づきがあればその都度報告、相談している。
・ご家族の都合で「通い・泊り・訪問」の追加や要望を取り入れ対応している。
・本人の状況にあった支援を行っており、申し送りやミーティングで情報を共有している。
・個別的な対応は申し送りですぐ共有し対応に繋げている。
・急な泊り対応や体調変化による受診などができている。
・本人の状況や状態に応じた支援を行なえている。
・受診、買い物等、その都度利用者がその日に必要とする訪問ができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・宿泊や通いの追加は本人より家族の意向が優先されている。
・家族のニーズに応え切れていない部分がある。
・宿泊者で居室が全て使用されているため、急に泊りの方が追加になると対応できないことがある。
・地域資源の活用があまりできていない。
・利用者側からの要望に合わせ支援を行っているが、利用者にとって本当に必要なのか、適切に支援を行なえているか分からない場合もある。
・ミーティングに参加できない時もあり全体で共有するのが難しい。
・一部の方の要望や思いを聞けていない。
・地域の資源の利用や配食サービス、ダスキンくらいであまりできていない。
・地域行事がコロナ禍でほぼ中止になり参加できなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

前回の改善計画を継続する。個別的な対応を職員全体で情報を共有し、より一層推進していく。(自宅での閉じこもりや入浴の拒否などへの改善への働きかけを行っていく)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年６月29日（14：00～14：40）
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	４人	８人	１人	１３人

前回の改善計画
これまでのつながりや関係性が途切れないように連絡調整・情報交換等を行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ禍ではあるが、できる範囲で繋がりが途切れないよう、電話連絡や年賀状などでのやり取りを行ってきた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		５	５	３	１３
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		５	３	５	１３
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？			１	１２	１３
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？				１３	１３

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・会議への参加は法人内外で行えている。
・キャラバンメイトにも参加できている。
・コロナ禍において会議等は難しいが、その他のサービス機関においては情報を共有することで連携がとれていると思う。
・コロナ禍のなか感染予防を行いながら関係機関との会議や打ち合わせを行っており、これまで通りの関係性が保たれている。
・サービス機関との連携は行えている。
・コロナで今までのような交流はできなかったが連絡を取り関係を築いている。
・施設にて会議を行なったり、児童センターや牧こども園の交流などは行えなかったが、空手クラブや太鼓演奏の録画を鑑賞したりと、直接は会えなかったが違う形でつながっている。
・ケアハウスの行事に参加できるよう連携を取っている。
・学童や太鼓等、「連携、協働」と連絡調整や情報交換等はできている。
・他サービス機関と連絡調整、必要な援助はできている。
・各種会議にはケアマネが参加できている。
・学童、空手、保育園とはビデオレターやＤＶＤで交流ができた。
・秋には焼き饅頭の移動販売に来てもらい、イベントらしい感じで利用者に楽しんでいただけた。
・コロナ禍でこども園や学童との交流はできなくても、行事をビデオで撮ってものを観たりして交流が行われている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

コロナの感染予防のため外部との行事が行えない。
・地域活動や地域住民の来設。
・地域住民との関わり。
・地域の活動やイベントに参加できていない。
・コロナ禍で運営懇談会や町内会のイベント等、今まで出来ていた事が感染予防のためできなかった。
・コロナ禍で行事やイベントに参加するのが難しい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

前年度の改善計画（これまでのつながりや関係性が途切れないように連絡調整・情報交換等を行っていく。）の継続と合わせ、コロナ禍の終息状況をみながら、行事や交流などの取り組みを以前の状況に戻していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年７月６日 14：00～14：50
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	９名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	３人	１０人	１３人

前回の改善計画
３か月に１度のペースでの活動検討会の開催を継続する。その際、担当者が予定を決め、15時のおやつの時間帯に開催する。短時間でも各担当からの意見を職員全体に出来るだけ周知できるよう取り組む。又、地域交流会などの大きな行事はこれまで通りに２か月前に話し合いの機会を設けることを継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果
日時を決めていなかったため１度も活動検討会を開催できなかった。又、コロナ禍でもあり地域交流の企画は実施されなかったが、施設内での季節行事等は２か月前に話し合いの機会を基本設けられた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		3	8	2	１３
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		１１	2		１３
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		6	5	2	１３
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？			6	7	１３

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・苦情などの情報はスタッフ間で共有し対策を考えることがなんとかできている。
・自分が思いつく点や利用者からの声などを管理者に伝えている。
・ビデオ撮影したものを皆で観たり、リモートで紅葉狩りを行うなど、コロナ禍の生活様式に合せながら工夫して行事を行うことができた。
・周囲からの意見の反映はできている。
・苦情や意見があればすぐに対応している。
・意見や苦情があった際は職員間で情報共有し運営に反映できている。
・施設内での行事、企画、活動はできている。
・利用者家族から意見等あった場合はすぐに申し送り、スタッフ、責任者でより適した支援に繋げている。
・月ごとの行事（ミュージックケア、臨床美術、誕生日会）は、しっかりとできている。
・苦情や意見は反映できている。
・月ごとの行事はコロナで制限はあるものの工夫してできている。
・利用者や家族からの苦情には迅速に対応できている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・本年度コロナの関係で地域の方が事業所へ入る機会がなかった。
・活動検討会の開催。
・コロナのため地域交流などの大きな行事は行えなかった。
・活動検討会や地域交流ができなかった。
・地域と協働した取り組みは行えていない。
・事業所外での交流も少なく、コロナ感染防止のため地域の方の受け入れができなかった。
・地域の方から意見を聞く機会がない。
・行事担当者以外での話し合いはできていない。
・地域の方々からの意見をいただけるまでの関係を築けていないのでできていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

3か月に1度の活動検討会を継続する。日程は、今年度は介護リーダーが事前に決め、スムーズな会議が行えるよう、当日の参加ができない担当者からの課題や検討事項を確認し、当日の活動検討会がスムーズに行えるよう取り組み。次年度は、介護リーダーではなく、活動の各担当者が輪番で日程と不参加者からの情報収取を行う。(最低でも今年度は2回開催する)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年７月６日 14：00～14：50
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	９名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	４人	９人	１３人

前回の改善計画

２か月に１度のペースでの危険予知トレーニングを継続する。時間帯は前回と同様、１５時のおやつの時間帯に開催。又、前もって勤務表等に組み入れる。

前回の改善計画に対する取組み結果

４月より新たな担当者を設け、２か月に１度のペースで実施できた。又、スムーズに危険予知トレーニングが行えるよう事前に資料を配布し、記入欄に各自で記載してもらい、訓練に臨んだ。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		6	6	1	１３
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1	3	8	１３
③	地域連絡会に参加していますか		3	2	8	１３
④	リスクマネジメントに取組んでいますか		5	7	1	１３

できている点

・地域連絡会への参加やリスクマネジメントの取り組みは事業所内外でなんとかできている。
・ヒヤリハットは簡素化（業務日誌とケースのみに記載）したことで増えていると思われる。
・年間スケジュールに組み込まれている職場内研修は予定通り行っている。
・事故やヒヤリの報告は業務日誌に記載されているので、ケースを読みリスクマネジメントの意識付けになっている。
・ヒヤリハットや事故報告が把握しやすくなった。
・事故が起こらないよう、毎日の申し送りやケース記録などで情報共有し、事故が発生した場合はヒヤリや事故報告で早期に検証を行い再発防止に努めている。
・ヒヤリや事故報告を業務日誌に記入したり回覧することで状況が把握でき、情報共有ができている。
・予測されるリスクの情報を共有できている。
・会議は責任者が参加している。
・職場内研修には参加できている。
・外部研修に参加したことで知識や技術だけでなく気持ちの面でも得ることが色々あった。
・定期的に実施される職場内研修に参加できるので自分自身スキルアップできている。

できていない点
・外部研修にはコロナのため参加できていない。 ・２ヶ月に１度のＫＹＴが実施できていない。 ・職場外研修にはあまり参加できていない。 ・コロナ禍のなか職場外研修等への参加はしていない。 ・ヒヤリや事故報告の改善策など全体で話し合う機会がない。 ・同じようなヒヤリが続く時もある。 ・職場内研修はあるが職場外への研修ができていない。 ・リスクマネジメントへの意識が低くできていないことがある。 ・ヒヤリについて改善方法が話し合えていない。 ・同じような内容のヒヤリが多い。ヒヤリがあっても全体で防ぐための話し合いは特にない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
（前年度の継続）２か月に１度のペースでの危険予知トレーニングを継続する。時間帯は前回と同様、１５時のおやつの時間帯に開催。又、前もって勤務表等に組み入れる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年７月６日 14：00～14：50
９．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	９名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	４人	３人	６人	１３人

前回の改善計画
研修担当を管理者が決め、その方が中心に前回と同様に演習を取り入れた人権に関しての研修を開催していく。（最低でも１回の開催を実施）

前回の改善計画に対する取組み結果
毎年県で主催している権利擁護に関しての研修会に参加できなかったこともあり、人権に関しての職場内での研修会を開催することができなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	３	１０			１３
②	虐待は行われていない	３	１０			１３
③	プライバシーが守られている		８	５		１３
④	必要な方に成年後見制度を活用している		２	３	８	１３
⑤	適正な個人情報の管理ができている		１０	３		１３

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者が安全、安心、快適に過ごせるようプライバシーの保護に努めている。
・定期的な研修により振り返ることができている。
・トイレに誘う時は大声にならないよう配慮している。
・拘束・虐待は行われていない。
・虐待になるような不適切な対応がないか職員間でチェックできているように思う。
・不適切な行動や支援はみられない。
・言葉遣いや態度が、人格を尊重することにつながると思い失礼のないようにしている。
・排泄面など利用者のプライバシーに気を付けている。
・利用者との関わりで気になることがあれば、迅速に上司や同僚に相談や報告をしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・身体拘束や虐待はないが、きつい声掛けがあったり、利用者とスタッフの距離が近く嫌な方もいる。
・スタッフが利用者の前で他の方の話しをしていると、その内容を聞いている方もいる。
・個人情報の管理。
・人権に関する研修は行えなかった。
・プライバシーが守られていない。
・職員同士が話していることが利用者に聞こえていることがある。
・トイレ誘導、利用者のプライバシー等、職員間で話している時に大きな声になっているので守られていない。
・声掛けに配慮が足りない時がある。
・聞こえなくて声が大きくなってしなう時がある。
・トイレ誘導を行う時に他の利用者に聞こえる声で話しかけている時がある。
・利用者の個人情報を他の方に聞こえてしまう声で話し合っている。
・トイレの様子を職員同士で周りに聞こえるかもしれない声で話す。
・成年後見制度については利用されている方がいるか分からない。
・スピーチロックについては思わず口にしてしまうことがある。
・個人のことを話す場合の声が大きく、他の利用者に聞こえていることがある。
・待ってもらうなど行動制限をしてしまうことがある。
・対応を他の利用者の前で行うことで、その利用者がかえって目立ってしまうことがある。
・不適切な関わりやケアをしているのを目の前で見ても注意できない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

人権に関しての価値観を共有できる職場内研修会を実施する。